

# 向日市

まちのうごき

(4月1日現在)	(3月中)	
世帯数 16,628世帯	生れた人 61人	
人口 52,448人	亡くなった人 14人	
男 25,750人	転入した人 512人	
女 26,698人	転出した人 648人	

向日市

## 友好親善を深める

サラトガ市

### ようこそ向日市へ



市役所庁舎前で握手をする民秋市長とクレベンジャー市長

向日市が姉妹都市盟約を結んでいる米国、カリフォルニア州サラトガ市の友好訪問団(クレベンジャー市長他31名)が4月12日、向日市を訪れ、市役所で歓迎式のおと、図書館・文化資料館を見学し、向日神社で行われた桜まつりに参加、のち向日市老人福祉センターを訪問されました。翌13日は、竹林公園を見学され、本市特産のタケノコ掘りを体験されるなど、2日間にわたる友好を深めました。

今回の友好訪問団は、昭和59年11月16日、本市とサラトガ市との姉妹都市盟約調印式の来日以来2回目です。午前9時半、民秋市長をはじめ、市議会議員、向日市・サラトガ市友好の会を代表して、市役所庁舎前で歓迎式が行われ、「両市の文化交流は、着実に一歩一歩進んでおり、平和を願い、友情を深め活発にしていくことは日米間の親善に役立つものと確信する。今後、友好がますます発展することを願う」と民秋市長があいさつ。これに答え、クレベンジャー市長は「姉妹都市を誇りに思っています。桜が満開になるように、友好が花開き、ますます盛んになるよう願っています」と述べました。このあと、市役所庁舎内や市立図書館、文化資料館を見学したあと向日神社境内で開催中の桜まつりに参加、祈願祭や植樹祭ののち境内一帯での出店や野点のまつり気分を満喫。このあと一行は、向日市老人福祉センターを訪問されサラトガ市の老人の方へ「友好の盾」の贈呈がありました。2日目の13日は、朝から竹林公園を見学したのち、物集女町の竹藪でタケノコ掘りを体験されました。午後は、友好の会員のビニールハウスで栽培中の花や苗、トマトを見学し、夜は市と友好の会で催したパーティーに参加、2日間におたるとスケジュールを終え、友好を深めました。

### 友好スナップ



向日神社で植樹をする両市長



タケノコ掘りに挑戦



桜まつりに参加



老人福祉センターへ友好の盾を贈呈



文化資料館を見学

### 息の長い友好を

サラトガ市は、サンフランシスコから南約80キロの丘陵地帯にある人口約3万人、面積31平方キロメートル、海抜152メートルの住宅都市です。シリコンバレーで知られるサンタクララ、サンノゼやサンフランシスコに近いことから実業家や文化人が多く居住し、日系人も十数人が生活しています。平均気温は、5月〜10月が26〜7度、11月〜4月が18〜3度という常春の町で毎年春には市制記念式典が華やかに催され、日本のコイノボリがパレードに参加したこともあります。市民は陽気で明るく、熱気球による「空の散歩」も盛ん

向日市が昭和58年3月、市内で発掘された須恵器をサラトガ市へ贈ったニュースは、現地の新聞に大きく報道され反響を呼びました。

### サラトガ市紹介

向日市の金明孟宗竹をはじめ日本の竹が植えられており、市民は親日的で日本の文化に興味を持っていて、向日市が数多く、向日市が昭和58年3月、市内で発掘された須恵器をサラトガ市へ贈ったニュースは、現地の新聞に大きく報道され反響を呼びました。

もえたつようなツツジが野山を染める季節です。ハイキング・旅行・お買物など、何かとお出かけも多いことでしょう。暖房から解放されてもガス器具や風呂など私たちの暮らしからは、火の気の消えることはありません。戸締りと共に火には十分気をつけましょう。

## お出かけ前には 必ず火の元点検を

### 留守宅火災予防運動

### 5月5日まで

向日市消防本部・消防団

